

世田谷区がめざす魅力ある図書館づくりについて

《第2次世田谷区立図書館ビジョン》

**基本理念 知と学びと文化の情報拠点**

図書館の公共性の観点に立ち、子どもが本に親しみ、豊かな精神的成長を助けるとともに、大人の知的欲求と学習意欲に応えます。さらに、読書や地域文化の情報収集と発信を通じて世田谷の魅力を見出し、それらの活動や文化の担い手となるコミュニティの醸成につながる交流の場所、地域に開かれた知的な居場所をめざします。

**知と学び**

図書館は、広く区民に開かれており、誰もが本を中心とした資料を通して知識や情報を学ぶことのできる機関です。この図書館の本来のあり方を大切にしながら、区民の求める知識や情報に触れる機会を提供し、総合的な学びを支援します。

**子ども**

図書館は、子どもたちにとって、「外の世界につながる窓」となる本のある場所です。本を読む楽しみとともに、それぞれの年齢に応じた本との出会いを助け、これからの社会を担う子どもたちが豊かに成長していく環境を整えます。

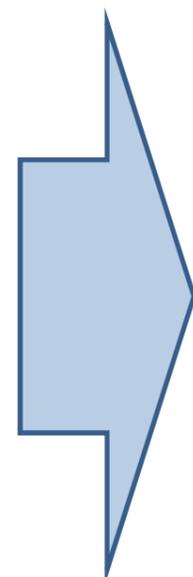
4つの視点

**地域文化**

図書館は、本を収集・保存・公開することで新たな知識と文化の創造を支えてきた機関です。図書館の持つこの創造性を改めて見直し、文化や芸術、まちづくり等、地域における様々な活動に関する情報を収集・発信することで、地域文化の充実・発展を支えます。

**コミュニティ**

図書館は、多様な人々が知識や情報を求めて集まり、時間と空間を共有しながら、各々に過ごす場所です。誰もが気軽に訪れ、居心地よく過ごすことができる図書館を基本としながら、利用者や地域のコミュニティを醸成するための取組みを行います。



《事業方針に沿った魅力ある図書館づくりに向けた取組み》

0歳児からの読書を支える図書館

生まれて間もない子どもから青少年に至る成長過程において、本に親しみ、読書を楽しむ支援を行う。

ア) 子どもが本と出会い、親子で学び・交流できる場の整備
イ) 中高生などの読書や学習を支えるサービスの拡充
ウ) 子どもの読書活動を支えるボランティア活動を支援するサービスの拡充
エ) 小中学校との連携・支援機能の拡充(学校図書館との連携強化含む)
オ) ICTを活用した子どもたちの読書活動の支援

大人の学びを豊かにする図書館

一人ひとりが本と向かい合う学びに加え、共同で学ぶ場などを提供し、区民が相互に知識を伝えあい、学びあうことを促進する。

ア) 個々人が資料を通じて知識や情報を得るだけにとどまらず、知識や情報を交換する場の提供
イ) 生涯学習を支援するサービスの拡充
ウ) 滞在型図書館として読書を楽しめる憩いの場の提供
エ) 図書館ボランティアが活動する場の拡充

暮らしや仕事に役立つ図書館

区民の日々の暮らしや健康、仕事、地域での様々な活動に対して効果的な支援を行うレファレンスの実施など、区民に役立つ図書館をめざす。

ア) 課題解決を支援するサービスの拡充(レファレンスサービス)
イ) 障害者が快適に利用できるサービスの拡充
ウ) 認知症にやさしい図書館の実現
エ) 区民の活発な学習や交流を促すイベントや交流の場の提供

世田谷の魅力を収集・発信する図書館

世田谷の暮らしや芸術文化、歴史、まちづくり、子育て等の図書資料等を幅広く収集し、それらの資料の収集と集約・体系化を通じて世田谷らしさを見出し、ICT等を活用しながら発信する。

ア) 地域資料などの収集・保存機能の拡充
イ) 世田谷の魅力を発信するサービスの拡充
ウ) ICTを活用した区民の学びの促進
エ) 電子書籍の拡充とデジタル化の推進

《基本方針》 4つの事業方針と2つの運営方針

事業方針
0歳児からの読書を支える図書館
大人の学びを豊かにする図書館
暮らしや仕事に役立つ図書館
世田谷の魅力を収集・発信する図書館

運営方針
図書館ネットワークの構築
専門性と効率性を両立した運営体制の構築